

週に1本のワイン、男性ではたばこ1日5本、女性では10本の発がんリスクと同等

喫煙とがんとの関連については多くのことが知られているのとは対照的に、飲酒による発がんリスクについては一般の人にはあまり理解されていない。そこで本研究では、中程度の飲酒によるがんの発症リスクを算出し、軽度の喫煙による発がんの絶対リスクと比較した。

英国の国家統計局の一般人口の発がん生涯リスクのデータ、喫煙および飲酒によるがんの罹患者数のデータ、週に10杯の飲酒や週に10本の喫煙による発がんの相対リスクに関するデータを用いて分析を行った。その結果、週にワイン1本の摂取により、非喫煙者の発がんの絶対生涯リスクは男性で1.0%、女性で1.4%上昇した。また、週にワイン1本摂取による発がんの絶対リスクは、男性ではたばこ5本/週、女性では10本/週と同等と算出された。

したがって、週に1本のワインを摂取する発がんリスクは、女性では週に10本の喫煙によるリスクと同等であることが示され、とくに乳がん発症のリスクが上昇した。また、男性では週5本の喫煙によるリスクと同等であった。今回の知見は、中程度の飲酒が健康上の危険因子となることを周知するのに役立つであろう。

出典:BMC Public Health. 2019 Mar 28; 19(1):316.